

仕 様 表

A I F - 5 0 3 H R × 2 / R O A - 1 0 0 2 H T

(室内ユニット)

(室外機)

(ツインキットRBC-TK40使用)

東芝パッケージエアコン (空冷ヒートポンプ式床置形スタンドタイプ)

補助電気ヒータ内蔵

電 気 特 性 (注 2)	標準能力(kcal/h) (注1)	(冷) 9,000 [5,000~10,000] (暖) 10,600 [5,000~12,300] (14,990 [9,370~16,690])	外 外 装 色	シルキーグレー (マンセル6Y7/0.3)
	電 源 (注3)	三相 200V 50/60Hz	観 外 形 寸 法 (mm)	高さ1,240×幅930×奥行385
	運 転 電 流 (A)	(冷) 12.6/12.6 [15.6/15.6] (暖) 13.0/13.0 [16.9/16.9] (27.7/27.7 [31.6/31.6])	室 総 質 量 (kg)	97
	消 費 電 力 (kW)	(冷) 3.99/4.02 [4.99/5.02] (暖) 4.16/4.19 [5.42/5.45] (9.26/9.29 [10.52/10.55])	圧縮機 形 式	全 密 閉 形
	力 率 (%)	(冷) 91/92 [92/93] (暖) 92/93 [93/93] (97/97 [96/96])	電 動 機 (kW) ・ (極数)	2.2 (2)
	始 動 電 流 (A)	10.5/10.5	空 気 熱 交 換 器	フィンチューブ
	外 前 面 パ ネ ル	(W) : シルキーミスト (マンセル1Y8.9/0.5)	外 冷 媒 制 御	温度式自動膨脹弁
	側 面 ・ 吸 込 グ リ ル	(W) : シルキーミスト (マンセル1Y8.9/0.5)	送 風 機	プロペラファン
	外 形 寸 法 (mm)	高さ1,750×幅600×奥行210	標 準 風 量 (m³/h)	6,000
	総 質 量 (kg)	50	電 動 機 (W)	39+63
(注4)	補 助 電 気 ヒ ー タ (kW)	2.55	高 圧 ス イ ッ チ (kg/cm²G)	OFF: 30 ON: 23
	空 気 熱 交 換 器	フィンチューブ	保 護 装 置	過電流センサー、インナーオーバードリレ
	防 音 ・ 断 熱 材	ポリフノン、難燃性ポリエチレンフォーム	冷 媒 ・ 出 荷 時 冷 媒 封 入 量 (kg)	R-22・2.7
	送 風 機	シロッコファン	冷 室 外 機 ・ 分 岐 管 間 (mm)	ガス側φ19 (注5) 液側φ9.5
	標 準 風 量 (m³/h)	900	分岐管・室内ユニット(各)間 (mm)	ガス側φ12.7 液側φ6.4
	電 動 機 (W)	37	標 準 冷 媒 量 時 (m)	主配管実長: 3 分岐配管実長: 2
	風 向 調 節	自動式 (左右方向)	最 大 実 長 (m)	30
	エ ア フ ィ ル タ	付	最 大 落 差 (m)	室外機が上の場合: 30 室外機が下の場合: 15
	ドレン口径 (呼び径)	20 (塩ビ管)	分岐配管最大長さ (m)	15
			分岐配管長さの最大差 (m)	10
(注6)			冷 媒 追 加 量 (g/m)	主配管実長が3mを超える場合: 30 分岐配管実長が2mを超える場合: 35
			電 源	手 元 ス イ ッ チ (A)
			ヒ ュ ー ズ (A)	30
			電 源 配 線	20m以下
			(電線管)	50m以下
			燃 線	5.5mm²
			燃 線	14mm²
			連 結 線	室外・ツインコントローラ間 (25m以下)
			室 外 機 吹 出 ガ イ ド	単線1.6mm×3本
			室 外 機 ド レ ン 皿	単線1.6mm×3本 (親) 間
別 売 部 品			室 内 ユ ニ ッ ト 置 台	単線1.6mm×3本 (子) 間
				単線1.6mm×3本+ (シールド線1.5m付属)
				室内A (親) ・ 室内B (子) 間
				燃線0.3mm²×2本
				燃線0.3mm²×2本
				燃線0.3mm²×2本
				燃線0.3mm²×2本
				燃線0.3mm²×2本
				燃線0.3mm²×2本
				燃線0.3mm²×2本

(注1) 標準能力はJIS B 8615条件による。〔 〕内は能力範囲、()内は補助電気ヒータ作動時です。

(注2) 電気特性はJIS B 8615条件による。〔 〕内は最高能力運転時、()内は補助電気ヒータ作動時です。

(注3) 電源電圧は変動があった場合でも±10%を超えないようにすること。

(注4) 同一室内ユニットを2台使用します。

(注5) 主配管実長が20mを超える場合、ガス側配管は、φ22.2を使用してください。

(注6) 補助電気ヒータ用電源は、室内・外連絡線で送ることはできません。補助電気ヒータ用電源を、室内ユニットに供給してください。